

第 10 回山ノ内町議会報告会実施結果報告書（南部）

日 時	平成 29 年 1 月 28 日（土）午後 3 時 00 分から午後 5 時 00 分まで
場 所	ほなみふれあいセンター
参加人数	住民参加者 38 人 議員 10 人 事務局 1 人
地元協力団体	南部地区協議会・南部公民館
議員役割分担	<p>総括責任者 児玉信治 司会進行 児玉信治 常任委員会報告者 総務産業常任委員会 高田佳久 社会文教常任委員会 布施谷裕泉 広報常任委員会 山本光俊 議会運営委員会 山本光俊 記録者 望月貞明 出席議員 山本光俊・布施谷裕泉・西 宗亮・望月貞明・高山祐一 高田佳久・児玉信治・小林克彦・山本良一・小渕茂昭</p>
次第(担当者)	<p>1. 開会 司会者 児玉信治 2. あいさつ (1) 主催者 議長 小渕茂昭 (2) 共催者代表 南部地区協議会 田中文二 3. 報告事項 (1) 議会常任委員会報 ①総務産業常任委員会 高田佳久 ②社会文教常任委員会 布施谷裕泉 ③広報常任委員会 山本光俊 ④議会運営委員会 山本光俊 (2) 質 疑 4. 懇談事項 意見交換会 5. 閉会 南部公民館長 樋口 新一</p>
報告事項の質疑	特になし
議会に取り組んでほしいことの結果	<p>① 観光商工振興策 3 名 ② 農林水産業振興策 4 名 ③ 子育て・教育施策 6 名 ④ 高齢者・障がい者・健康福祉施策 11 名 ⑤ 都市基盤・生活環境の整備（上下水道、道路、側溝など） 7 名 ⑥ 行財政運営・行政サービスの向上（税、窓口など） 3 名</p>
意見交換会での質問と回答	<p>質問 北小学校の跡施設利用方法をどのように考えているか。</p> <p>回答 地元議員、須賀川区の代表 20 数名で北小跡施設検討委員会を設置し、委員に要望書を提出してもらい、それを基に地域、産業、老人クラブの拠点など検討中。また、実施計画では 29 年度に、北小学校体育館改修として 5,000 万円が計上されている。</p> <p>質問 今後、高齢者が増加するので、高齢者が集う拠点や運動する施設として、学校の空き教室や体育館、または空き家を活用する考えは。</p>

意見交換会での
質問と回答

回答 現在、高齢者が集う新たな専用の施設をつくる計画はないが、運動する施設は、河川敷でのマレットや屋内ゲートボール場がある。また、各地区の公民館や集会所などを活用して民生委員が主催するお茶飲み会もある。

質問 現在、民生委員を中心にお茶飲み会をしているが、高齢者の増加とともに運動やお茶飲みの場所がより必要になる。今後、北小学校の空き校舎や空き家など活用できる施設は多くなり、誰が中心となって、どう活用するかを考えていくことが必要では。

回答 5年後には、小学校の統廃合により空き施設が出てくる場合がある。統合が決定した時点で協議したい。

質問 地域の若者が減少しているため、消防団員の確保が難しい。よいアドバイスがあれば欲しい。

回答 地域に若者がいないことや入団に家族の理解が得られないことなどが原因で消防団員の確保を難しくしている。町では、消防団協力事業所表示制度を設け、会社員の消防団活動に協力する企業の理解が進んでいる。また、県の行う信州消防団応援ショップ事業への協力もしている。これは県内の登録店舗で割引特典を消防団員やその家族が使える制度。さらに女性消防団員の確保を目指し、女性が担える分野での活用を考えている。いずれにしても、団員確保には家族の理解を得ることや対象年齢の方に入団をお願いするしかない。

消防力を補完するため機能別消防団員制度ができた。消防団は団員確保が目的ではなく、自分の地域をどう守っていくかが課題で、地域ごとに答えを見出していくことが必要だと思う。

質問 町内では信州消防団カードで商店や宿泊での割引特典が付与されているが、町では使える商店が少なく、使いたくても使えない。スーパーなどで使えたらよい。町独自の制度が欲しい。

回答 提案として行政に伝えたい。12月議会の一般質問で割引等の特典サービスを受けられる店舗増を提案し、登録店舗の募集をすとの答弁があった。

【後日回答】

町側に対象店舗拡大と町独自の制度を申し入れ、対象店舗拡大については消防課として町観光連盟に登録店舗の募集を要請すとの回答を得ました。町独自の制度については研究してもらうこととしました。

質問 付託議案審査で行政不服審査会条例とあるが、内容説明を。

回答 正確な答弁ができないので、あとで説明したい。

【後日回答】

行政不服審査法が50年ぶりに改正されたことに伴い、それを基に山ノ内町公文書公開等審査会条例を廃止し、新たに上位法に沿った山ノ内町行政不服審査会条例として制定したものです。

※山ノ内町の「公文書公開条例」（町民が公文書の公開を求める権利を明らかにするとともに、一層公正で開かれた町政の推進に寄与することを目的としたもの）は存続しています。

公開にあたっての審査をするために設置してある審査会の条例（山ノ内町公文書公開等審査会条例）の廃止にあたって、行政不服審査法に定める審査請求のあった場合において内容の審査を行う審査会の組織

及び運営に関して必要な事項を定めたものが山ノ内町行政不服審査会条例です。

質問 議会活性化の提言にインターネット中継とあるが、ライブ中継では時間的に見ることができない。ホームページから録画の再生を。

回答 新潟県内の先進地へ視察し、録画再生、またはYouTubeなどで配信している状況も確認したので可能である。これから議会で検討していく。

質問 年長児の保育料無料化は、人口減少社会で将来的な財源確保、継続性の点で問題ないか。言い方は悪いが、「ばらまき」。よりソフト面で考えることが他にあると思うが。

回答 27年度より軽減内容を拡充し実施してまいりましたが、新たに国の方針により低所得世帯の多子軽減の拡充が実施されている。実施計画に載っているので3年は継続できると考えている。この施策の継続性は首長の判断になる。

町長は長野オリンピックの起債が償還されたので、年長児保育無料と卒業祝い金を子育て支援として提案したと説明している。

質問 耐震診断は補助金でできるが、耐震改修は補助金額が少なく進んでいない。現状は建物を全部改修しなければ耐震改修にならない。

回答 指定避難所の宇木区民会館は、耐震改修で4,735万円に対し、町補助金は最大100万円と少ない。国補助は50万円に増額したが、住宅改修でも400万円程度かかるため、補助金を増額するよう12月議会の一般質問で提案したが、町長答弁では「近隣市町村の補助額を見て決める」であった。須坂市や中野市は多額な補助であり、山ノ内町は極端に少額。これからも増額を求めている。

【後日回答】

避難所耐震改修補助は、須坂市が上限1,576万円や中野市は上限800万円と多額な補助です。山ノ内町の避難所耐震改修補助算出額は「1㎡当り47,300円を乗じて得た額の3分の2以内の額で上限が100万円」であり、他市町村に比べて限度額が少ないのは確かです。今後、一般住宅も含めて耐震改修補助の増額を求めています。

質問 東京では、独居老人が寝室から廊下を歩いて玄関に出るまでの区間だけを部分的に改修する方法もある。これが可能かどうか検討してもらいたい。

回答 調査研究し対応したい。

【後日回答】

耐震診断の結果により、一部分の補強工事で基準を満たせるのであれば問題ないものと思われます。ただし、複数年かけての計画的改修工事に対する補助は、1回のみです。

質問 路線バスは28年9月に廃止するよううわさ話が出ていた。長電バスとの懇談会の内容説明を。

回答 赤字部分の補てんだけでは不十分。利益が出なければ事業を継続できないので、路線バスは廃止したい意向。町は公共交通検討会議で検討中。存続

意見交換会での
質問と回答

意見交換会での 質問と回答	<p>には路線のバス利用者増がポイントとなる。</p> <p>28年9月廃止ではなく、「それまでに方向性を出す」であったが、まだ結論が出てない。29年3月までに方向付けをすること。万一、廃止になっても町長は別の方法で公共交通を維持すると議会で答弁をしている。</p>
	<p>質問 町の地域活性化支援補助金を活用し、角間温泉の嶽心荘で「ふれあいコンサート」を開催してきた。補助金の活用期限が3年間のため、再度、町と相談し、観光振興イベント等事業支援補助金の活用を提案されたが、半額自己負担となり、資金不足で本年の開催が難しい。他に補助金はないか。</p>
	<p>回答 詳しくは地元議員に相談して探してほしいが、地域活性化支援補助金の基本的な考え方は、3年まで補助し4年目からは、自立して運営して下さいとのことです。</p>
	<p>質問 佐久間象山ゆかりの町文化財「煙嵐勝処^{えんらんしょうしょ}」がある。ここに展望テラスを設置すれば角間温泉の誘客につながると思うが。</p>
	<p>回答 確かに景色がよい場所。貴重な意見として町に提案していきたい。できるだけ実現するよう地元区との協議により進めていきたい。</p>
	<p>質問 観光と農業の町であるが委員会報告を見ても観光のことばかりで、農業についての発表がない。農業従事者の高齢化で後継者問題がある中、議会では農業振興策を議論、提言しているのか。</p>
	<p>回答 町で農業を継いだ方は昨年16名いた。南部は4名。後継者不足に対し農事組合法人にすることを提案したが、キノコはできるが果樹は圃場の均一性の点で難しい。</p> <p>南部は「豊麗の里ほなみ」という農業振興会議が立ち上がっている。ここでは里親制度を地域で対応しているのが特徴で、研修し農業後継者を育てる制度ができています。</p>
	<p>質問 管外視察した報告はあるが、結果を検討し、山ノ内町はここを直したほうがよいとの提案がない。</p> <p>回答 委員会での視察後の検討は、まだ行っていない。</p>